

146mm

D'

148mm

C'

148mm

B'

146mm

A'



ハゼグリーン

「海底ごみ」って何？

私たちが住んでいる街から、側溝や川などを通してごみが海へ流入し、その一部が海底に沈んで堆積しています。海底ごみには、レジ袋、ペットボトル、空き缶などの生活ごみが多く見られます。海底ごみがあると、魚がすみにくくなるなど、漁場環境の悪化につながる要因になると言われています。



福岡市漁業協同組合
代表理事組合長
末永 慶次さん

福岡市は「魚がおいしいまち」として知られていますが、このイメージを支えているのは、新鮮で美味しい魚介類が獲れる豊かな海「博多湾」です。一方で、近年、私たち漁業者は海底ごみが増えてきていると感じています。海底ごみがあると、ごみが漁網に引っかかったり、魚がすみにくくなったりするなど、漁業の支障となるため、福岡市と連携して海底ごみ回収活動を行っています。しかし、ごみの量は減少しておらず、そのほとんどが生活ごみです。海底ごみを減らすためには、漁業者と行政だけでなく、市民のみなさまの協力が必要です。一緒に豊かな博多湾を未来につなげていきましょう。

海底ごみの現状・影響

「これからみんなができること」

私たちが住んでいる街と山、川、海はすべてつながっているんだ。



山 → 川 → 海

私たちの生活の中で

私たち一人一人が生活から出るごみを減らしたり、山や川をきれいにしたりすることは、海へ流れ込むごみを減らすことにつながるよ。



タコピンク



カサゴレッド

何かできることはないかな？



ごみの
ポイ捨ては
ダメ！！



マイバッグ
マイボトルを
持っていこう！



まだまだ
使えるものは
大切にしよう！



「海底ごみ」の
ことを周りの
人に伝えよう！



清掃活動に
参加しよう！

新鮮で美味しい魚介類が獲れる豊かな博多湾をみんなで守っていこう！

FUKUOKAおさかなレンジャーの取り組み

FUKUOKAおさかなレンジャーは、陸域から博多湾に流入するごみを減らし、豊かな博多湾を守るため、海底ごみや、ごみそのものを減らす「リデュース」についての市民啓発に取り組んでいます。

海底

ごみの見える化

1 漁業者と協力し、博多湾に流入する河川の河口域を中心に調査・撮影し、ごみの流入状況・種類等の把握を進めています。



2 海底ごみの存在を知らせ、リデュース意識を高めるため、撮影した写真や映像を使って、リーフレットやポスター、動画などの啓発素材を制作しています。



他団体

との連携

他団体が実施する清掃活動などに参加し、団体とのつながりを深めるとともに、海底ごみやリデュースについての啓発を行っています。今後は、NPOや福岡市漁協などの団体とネットワークを立ち上げ、海底ごみ削減に向けた動きを活性化していくことを目指しています。

